

## 早稲田大学 社会科学部 政治・経済 講評

### 〔総合分析〕

出題形式	マーク式・記述式併用
試験時間	60分
特徴・その他	マーク式解答が減少。ドント式，需給曲線に関する計算問題が登場。他学部で近年扱った分野からの出題も目立つ。

### 〔大問別講評〕

番号	出題内容	コメント	難易度
I	政党制・選挙制度	政党制・選挙制度については商学部(01)，政経学部(01)でも出題。ドント式の計算は最後まできちんと計算しないとかわぬミスがでる。	標準
II	新しい人権プライバシーの権利	新しい人権の中でも「プライバシーの権利」や「知る権利」は時事問題と絡めて，近年よく出題されている。時事問題の内容は常識的レベル。	標準
III	市場の失敗公害・環境問題	市場の失敗，外部不経済，環境問題は基本レベル。ピグー税はやや難しい。需給曲線の計算は中学の一次関数を思い出そう。時間配分に要注意。	標準
IV	国際通貨制度	問1は基本問題。他はその問題発生理由まで問う問題。問5のアジア経済危機はやや難しいが近年頻出の時事問題。過去問演習が大切。	やや難

### 〔総合コメント〕

I・II・IIIいずれの問題も、近年、他学部で出題された分野である。従って、過去問演習は非常に大切（近年頻出の時事問題もある程度はカバーできる）。I・IIIのような計算問題は問題文の数値と時間配分に注意してあわてず、慎重に解かなければ失点を招く。